

## 神戸市胃内視鏡検診 Q&A

### Q 検診対象者は？

A 神戸市にお住まいの方で当該年度に50歳以上の偶数歳の誕生日を迎える方が対象です。2年度に1度受けていただくことができます。(対象者〔年齢早見表〕をご参照下さい。)

### Q 申し込み手続きはどのように行ったらよいか？受診券や案内が自宅に届かない。

A 神戸市胃内視鏡検診指定医療機関へ直接ご予約ください。受診券は不要ですので、予約時に「神戸市胃内視鏡検診を受診希望」とお伝えください。

### Q どこで受診できるか？

A 神戸市胃内視鏡検診指定医療機関で受けていただきます。(受診場所〔指定医療機関一覧〕をご参照下さい。)

### Q 検診費用はいくらか？

A 検診費用は2,000円です。

ただし、下記の方は他のがん検診と同様、検診費用無料となります。

①70歳以上の方(偶数歳の方) ②市民税が非課税または均等割のみ課税の世帯

③生活保護受給者 ④特定中国残留邦人等支援給付受給者

※②③④の方は無料受診券が必要ですので、住所地の区・支所あんしんすこやか係にて申請を行って下さい。申請時には本人確認ができる健康保険証等が必要です。

### Q 検診費用の他に別途請求が発生することはないか？

A 胃内視鏡検診実施時に異常が認められた場合には、生検(病変の一部をつまみ細胞の検査を行うこと)を実施する場合があります。生検が行われた場合には、生検について保険診療として別途請求があり、市が定める検診費用の他に、保険診療の一部負担金を追加してお支払いいただくこととなります。そのため、検査当日は必ず健康保険証を持参してください。

### Q 神戸市胃がん検診として、胃部エックス線検診と胃内視鏡検診があるが、年度内に両方受診できるか？

A 年度内に胃部エックス線検診か胃内視鏡検診のいずれかを選択いただくこととなり両方受診はできません。胃部エックス線検診は40歳以上の方で毎年受診が可能ですが、胃内視鏡検査を受診した場合の翌年度は胃内視鏡検診、胃部エックス線検診ともに受診できません。

(参考) 神戸市胃部エックス線検診

対象：40歳以上 検診費用：600円 受診場所：検診車(地域巡回)

申し込み方法：検診機関(兵庫県予防医学協会：871-7758)へ申し込み

Q 昨年度偶数歳であったが胃内視鏡検査を受けることができなかった。今年度奇数歳だが、胃内視鏡検査を受けることはできるか？

A 胃内視鏡検査を受診できるのは偶数歳の方のみとなり、受診はできません。胃部エックス線検診であれば受診可能です。

Q 年齢要件が合えば、誰でも受けられるのか？

A 下記に該当する方は、胃内視鏡検査の対象から除外されます。

- ア 胃内視鏡検査に関するインフォームド・コンセントや同意書の取得ができない方
- イ 妊娠中の方
- ウ 疾患の種類にかかわらず、入院中の方
- エ 消化性潰瘍など胃疾患で受療中の方（ヘリコバクター・ピロリ除菌中の方を含む）
- オ 胃全摘術後の方
- カ 咽頭、鼻腔などに重篤な疾患があり、内視鏡の挿入ができない方
- キ 呼吸不全のある方
- ク 急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの心疾患のある方
- ケ 明らかな出血傾向またはその疑いのある方
- コ 収縮期血圧が極めて高い方
- サ 全身状態が悪く、内視鏡検査に耐えられないと判断される方

Q 胃疾患に関連する症状があり医療機関にて受診中であるが、胃内視鏡検査の対象となるか？また、抗血栓薬服用中の場合はどうか？

A 胃内視鏡検査の対象は、胃疾患に関連する症状のない方であるため、対象から除外されます。抗血栓薬服用中の方は、慎重な判断を要しますので、ご受診予定の医療機関にてご相談ください。

Q 経口内視鏡、経鼻内視鏡のどちらが対象か？

A 経口・経鼻どちらも対象ですが、医療機関により対応が異なりますので、受診場所〔指定医療機関一覧〕をご参照下さい。

Q 胃内視鏡検査時に鎮痛薬・鎮静薬を使用したいが対象か？

A 自治体が実施する検診（対策型検診）では偶発症のリスクを避けるため鎮痛薬、鎮静薬を使用しないこととなっています。鎮痛薬、鎮静薬を使用する場合は胃内視鏡検査自体が市制度の対象から除外されます。

Q 検査結果はいつ、どのようにして教えてもらえるのか？

A 胃内視鏡検査の精度を一定に保つため、すべての検査についてダブルチェックを行うこととしており、最終的な判定はダブルチェック後に決定します。検査を受けた医療機関を再度受診していただき、対面で判定結果の説明を受けていただきます。検査

受診後、おおむね1ヶ月程度で結果通知がなされる予定です。

Q 検査結果が「要精密検査」と診断されたが、どうしたらよいか？

A 検診で要精密検査と診断された方は必ずしもがんであるとは限りませんが、更に詳しい検査を行う必要があります。紹介状（精密検査依頼書兼結果報告書及び受診票）と健康保険証をご持参のうえ、必ず精密検査を受診して下さい。（精密検査にかかる費用は別途必要になります。）